

## 平成15年度高知女子大学看護学会「公開講座」報告

### 益 守 かづき\*

本年度高知女子大学看護学会では、平成16年6月5日に「今、看護職に求められている医療経済の基礎知識－医療保障と医療保険－」をテーマに、高知女子大学学長・岡山大学名誉教授である青山英康先生をお招きして講演会を開催した。初夏を感じる天候の穏やかな土曜日の午後であったが、医療・福祉・看護職約90名が青山先生の講演を傾聴した。

青山先生の講演は、聴講している参加者に語りかけるような巧みな話術によって、刻々と変化してきている医療保障と医療保険について、わかりやすく示された。講演と全体討議で約2時間半という時間であったが、充実した時間であったようで、あと数回に分けてでも先生の講演を企画してほしいという感想もいただいた。医療経済というテーマのため

か、公開講座への参加者は、専門職として働いている中でも、中堅からそれ以上というように現場の中でも管理的に物事を捉えることも必要とされる方が多かった。そのような参加者に対して、経済という視点は看護実践の中で重要ではあるが、なかなか注目されない事柄であること、それをどのように関連させながら日頃の看護の中に取り入れていったらいいのかというポイントを投げかけてくださるような内容であった。後半部分の全体討議においては、先生の専門領域である公衆衛生の分野についてのご意見なども交えながらの内容なども展開され、聴講している参加者の医療経済についての考え方を柔軟に変化させるに値するものだったようである。



\*高知女子大学看護学会企画委員